

旧藤波家住宅

平成7年3月1日 八潮市指定有形文化財（建造物）

●八潮市大字南後谷 763 番地 50（資料館）

藤波家は後谷村の開発名主で、近世初期に土着したと伝える家である。土着した当時は本間姓を名乗り、その後小櫃姓、18世紀末に藤波姓に改姓したが、江戸時代を通して後谷村の名主を勤めてきた家である。

旧藤波家住宅は、明治9年（1876）の建築で、

桁行13間・梁行5間半の直屋で7室もあり、当時の八潮市域の民家の中では大規模であった。形式としては、上総・下総に分布する民家の間取りと近似し、八潮市域周辺の近世期の民家様式を踏襲するが、建築当初より瓦葺きであり、外壁を黒漆喰仕上げとするのは、江戸市中の土蔵



造りの町屋意匠の模倣と思われる。明治初期の建築様式や意匠をよく遺している。

昭和63年（1988）に曳家され、現在は資料館の付属施設として、直屋のみ建築当初に復元して、保存、公開されている。

◎公開日：資料館開館日 9時～15時45分

◎その他の文化財：慶長年間の検地水帳（一部常設展示）
八條遺跡出土品（一部常設展示）

◎交通案内

- ・草加駅東口からバス（八潮駅北口行、八潮団地行、または木曾根行）「手代橋」下車徒歩5分
- ・八潮駅北口からバス（柳之宮経由草加駅東口行）「後谷住宅前」下車徒歩3分

◎資料館休館日

月曜日（祝日の場合は開館） 祝日の翌日 ほか



本図は電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成したものです。